

新

旧

旧

情報I	社会と情報	情報の科学
<p>(1) 情報社会の問題解決</p> <p>情報と情報技術を活用した問題の発見・解決の方法に着目。 情報社会の問題を発見・解決する活動。</p> <p>ア (ア) 情報やメディアの特性を踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を見出し・解決する方法を身に付ける。 (イ) 情報に関する法規や制度、情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラルについて理解する。 (ウ) 情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について理解する。</p> <p>イ (ア) 目的や状況に応じて、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を見出し・解決する方法について考える。 (イ) 情報に関する法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて、それらの背景を科学的に捉え、考察する。 (ウ) 情報と情報技術の適切かつ効果的な活用と望ましい情報社会の構築について考察する。</p>	<p>(4) ウ 情報社会における問題の解決</p> <p>(3) イ 情報セキュリティの確保 (3) ウ 情報社会における法と個人の責任 (3) ア 情報化が社会に及ぼす影響と課題</p> <p>(4) ウ 情報社会における問題の解決</p> <p>(3) ウ 情報社会における法と個人の責任</p>	<p>(2) ア 問題解決の基本的な考え方</p> <p>(4) イ 情報社会の安全と情報技術</p> <p>(4) ア 社会の情報化と人間</p> <p>(2) ア 問題解決の基本的な考え方 (3) ウ 問題解決の評価と改善</p> <p>(4) イ 情報社会の安全と情報技術</p> <p>(4) ウ 情報社会の発展と情報技術</p>
<p>(2) コミュニケーションと情報デザイン</p> <p>メディアとコミュニケーション手段及び情報デザインに着目。 目的や状況に応じて受け手に分かりやすく情報を伝える活動。</p> <p>ア (ア) メディアの特性とコミュニケーション手段の特徴について、その変遷も踏まえて科学的に理解。 (イ) 情報デザインが人や社会に果たしている役割を理解。 (ウ) 効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法を理解。表現する技能を身に付ける。</p> <p>イ (ア) メディアとコミュニケーション手段の関係を科学的に捉え、それらを目的や状況に応じて適切に選択。 (イ) コミュニケーションの目的を明確にして、適切かつ効果的な情報デザインを考える。 (ウ) 効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法に基づいて表現し、評価し改善する。</p>	<p>(1) ア 情報とメディアの特徴 (2) ア コミュニケーション手段の発達 (2) ウ 情報通信ネットワークの活用とコミュニケーション (4) イ 情報システムと人間</p> <p>(1) ウ 情報の表現と伝達</p> <p>(1) ア 情報とメディアの特徴</p> <p>(4) イ 情報システムと人間</p> <p>(1) ウ 情報の表現と伝達</p>	<p>(4) ア 社会の情報化と人間</p>
<p>(3) コンピュータとプログラミング</p> <p>コンピュータで情報が処理される仕組みに着目。 プログラミングやシミュレーションによって問題を見出し・解決する活動。</p> <p>ア (ア) コンピュータや外部装置の仕組みや特徴、コンピュータでの情報の内部表現と計算に関する限界について理解。 (イ) アルゴリズムを表現する手段、プログラミングによってコンピュータや情報通信ネットワークを活用する方法について理解。技能を身に付ける。 (ウ) 社会や自然などにおける事象をモデル化する方法、シミュレーションを通してモデルを評価し改善する方法について理解。</p> <p>イ (ア) コンピュータで扱われる情報の特徴とコンピュータの能力との関係について考察。 (イ) 目的に応じたアルゴリズムを考え適切な方法で表現し、プログラミングによりコンピュータや情報通信ネットワークを活用。その過程を評価し改善する。 (ウ) 目的に応じたモデル化やシミュレーションを適切に行うとともに、その結果を踏まえて問題の適切な解決方法を考える。</p>	<p>(1) イ 情報のデジタル化</p> <p>(1) イ 情報のデジタル化</p>	<p>(1) ア コンピュータと情報の処理</p> <p>(2) イ 問題の解決と処理手順の自動化</p> <p>(2) ウ モデル化とシミュレーション</p> <p>(2) イ 問題の解決と処理手順の自動化</p> <p>(2) ウ モデル化とシミュレーション</p>
<p>(4) 情報通信ネットワークとデータの活用</p> <p>情報通信ネットワークを介して流通するデータに着目。 情報通信ネットワークや情報システムにより提供されるサービスを活用し、問題を見出し・解決する活動。</p> <p>ア (ア) 情報通信ネットワークの仕組みや構成要素、プロトコルの役割及び情報セキュリティを確保するための方法や技術について理解。 (イ) データを蓄積、管理、提供する方法、情報通信ネットワークを介して情報システムがサービスを提供する仕組みと特徴について理解。 (ウ) データを表現、蓄積するための表し方と、データを収集、整理、分析する方法について理解。技能を身に付ける。</p> <p>イ (ア) 目的や状況に応じて、情報通信ネットワークにおける必要な構成要素を選択。情報セキュリティを確保する方法について考える。 (イ) 情報システムが提供するサービスの効果的な活用について考える。 (ウ) データの収集、整理、分析及び結果の表現の方法を適切に選択。実行し、評価し改善する。</p>	<p>(2) イ 情報通信ネットワークの仕組み (3) イ 情報セキュリティの確保</p> <p>(4) ア 社会における情報システム</p> <p>(2) イ 情報通信ネットワークの仕組み (3) イ 情報セキュリティの確保</p>	<p>(1) イ 情報通信ネットワークの仕組み</p> <p>(1) ウ 情報システムの働きと提供するサービス</p> <p>(3) イ 情報の蓄積・管理とデータベース</p> <p>(3) ア 情報通信ネットワークと問題解決 (4) イ 情報社会の安全と情報技術</p> <p>(1) ウ 情報システムの働きと提供するサービス</p> <p>(3) イ 情報の蓄積・管理とデータベース</p>